

教科	公民	科目	現代社会			単位数	2
学科	工業科	履修学年	2	コース		必修・選択	必修
教科書	『最新現代社会 新訂版』(実教出版)						
副教材等	使用しない						

学習目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
------	--

指導の重点	生徒の興味・関心に配慮しながら、現代社会における様々な問題を身近な問題として考えさせる。 さらに、現代社会の問題を抽象的に思考することで、その問題の対する的確な判断力と明確な自身の意見とを併せて育成する。
-------	---

学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)	評価方法
	1学期 (20)	第1部 わたしたちの生きる社会 第1章 地球環境問題  第2章 資源・エネルギー問題  第3章 生命科学と情報技術の問題  第2部 現代の社会と人間 1 青年期と自己形成 第1章 自分らしく生きる  第2章 人間としてよく生きる  第3章 日本人としての自覚	現代社会における諸課題を扱う中で、社会のあり方を考える基盤として、幸福、正義、公正などについて理解するとともに、現代社会に対する関心を高める。  現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解するとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考える。

	2 学期 (24)	<p>2 現代の民主政治と日本国憲法</p> <p>第1章 現代国家と民主政治</p> <p>第2章 日本国憲法の基本的性格</p> <p>第3章 日本の政治機構と政治参加</p> <p>3 現代社会と国民生活</p> <p>第1章 現代の経済社会</p> <p>第2章 日本経済の特質と国民生活</p>		定期考査 課題提出 授業への取り組み
	3 学期 (20)	<p>4 国際社会と人類の課題</p> <p>第1章 国際政治の動向</p> <p>第2章 国際経済の動向と国際協力</p> <p>第3部 共に生きる社会をめざして</p>	持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探求する活動を行う。	定期考査 課題提出 授業への取り組み

計64時間（55分授業）

評価規準と 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
<p>[評価方法]</p> <p>以上のような観点をふまえたうえで、授業への取り組み、課題の提出状況、定期考査の結果などから総合的に判断する。</p>				
学習の ポイント	<p>現代社会には、多くの人が住んでいます。その中で、さまざまな意見や利害を持つ人々がうまく暮らしていくために、これまで政治はどのように行われてきたか、まず現状を理解した上で、今後、どのように行われていくべきかを考えてほしいと思います。まず最初は、基本的な概念や用語に慣れることが大切なので、教科書をよく読んで、ノートをしっかりとって覚えること。新聞も1面から興味を持って読めるようになってほしいと思います。</p>			